

令和 5 年度事業報告

1 全体的事項

令和 5 年度は、コロナ禍の 3 年間を乗り越え、社会経済活動の正常化が進みつつある中、30 年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など前向きな動きがみられる一方で、賃金上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇には追い付かず、個人消費や設備投資は力強さを欠いた年でした。

新型コロナウイルスは感染法上の 5 類となり、地域ではイベントや行事等も通常開催され、シルバーの事業案内や活動を P R する機会に恵まれましたが、残念ながらコロナ前の水準を取りもどしたとは言えませんでした。

社会生活の長期的な展望においては、少子高齢化は常に進展し、生産年齢人口が減少する一方で高齢者の増加は一層進み、定年制の延長などにより労働参加率も増加しています。

高齢化の進行とともに新たな労働力人口も減少する中において、シルバー人材センターには人手不足分野や現役世代を支える分野、行政と連携した地域課題を支える分野などでの役割が求められています。

このような中で、令和 5 年度上田地域シルバー人材センターは、会員への就業機会の提供、会員拡大、高齢者の社会参加というシルバー人材センター本来の目的のため、

- ① 会員拡大に向けた積極的な広報活動や勧誘活動
- ② 地域住民や関係団体との連携による就業開拓活動や地域の高齢者の手が必要とされる分野の開拓
- ③ シルバー就業の適正就業の徹底と派遣事業への取組強化
- ④ 事故防止策及び安全体制の徹底と会員一人ひとりの安全意識の向上
- ⑤ 信頼されるシルバー人材センターを目指した技能講習や研修活動等の強化

の 5 項目を基本目標として定め、中期基本計画に盛り込まれた取組に従い事業を展開してきました。

令和 5 年度の最優先課題として取り組んできました会員拡大については、会員が減少傾向にあるなかで、年度当初の会員数 1,903 人に対し、年度末の会員は 1,831 人であり、結果として前年度末実績を下回ることとなりました。会員拡大に向けては、今後も継続した会員勧誘活動やシルバー事業への理解、関心を一層高める取組が必要となっています。また、健康上の理由が退会理由の 40 パーセントを超えることから生き生きと働くことができるよう健康推進活動を進めることも大切です。

受注状況では、公共については、全体的にも仕事が減少しました。また、企業

活動は海外景気の下振れリスクや物価動向に関する不確実性などにより、事業活動に差が出ている状況です。一方、一般家庭については、除草・剪定・伐採作業などの依頼はあるものの、技術を持つ会員が減少しており、手配がつかないなど受注が難しい状況は引き続きの課題となりました。

10月から派遣事業の主体が長野県シルバー人材センター連合会となり分担を明確にして事務移行となりましたが、派遣事業は、就業先となる事業部所数は固定された傾向にある中で、社会経済の影響や新たな設備の導入などにより影響を受けやすくなっています。また、10月から始まったインボイス制度に合わせて、請負から派遣への切り替えや新たな就業開拓をしていくことが課題となりました。

また、インボイス制度は、消費税相当分の新たな負担発生や受注にもたらす影響などの課題があり、この対策として全国シルバー人材センター事業協会ではフリーランス新法の施行に向けて契約方法の見直しなどを検討してきました。

新契約方法に向けてのシルバー人材センターのデジタル化推進事業としては、会員のデジタル端末の利用を進めるため、スマホの操作説明会を開催しました。

地域でのシルバー活動の起点となる班会活動については、徐々に活況を呈してきましたが会員一人ひとりができることとして声掛けを行い「一人一新規就業開拓」、「一人一会員拡大」に引き続き取り組みました。

総務部門をはじめ、就業促進、安全適正就業、広報活動については各専門委員会の活動報告のとおり、それぞれにおいて上田地域シルバー人材センターの健全な発展と活性化に努めました。

高齢者の社会参加の推進と生きがい就労を進める上田地域シルバー人材センターの事業に終始ご理解とご支援をいただきました国や県、関係市町村、関係機関、団体及び地域住民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

2 各専門委員会の活動

(1) 総務委員会

令和5年度は、中期基本計画における重点的に取り組む事項について、各専門委員会との調整を図りながら取組を進めてきました。

新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響は徐々に緩和され会員主体のセンター事業もそれに合わせた活動が始まりました。最大の目標である会員拡大については、特定費用準備資金を活用した「会員拡大特別対策事業」として、行政関係を重点的に公用封筒や生活ガイドブック、市町村広報誌、地元メディアでは、新聞広告、タウン情報誌への会員募集の掲載など、情報発信を一層充実させるとともにシルバー事業の啓発や会員の勧誘に取り組みました。また、様々な場面で活用できる入会案内のプロモーション映像を新たに制作しました。計画していた各種行事や講習会についても実施することができ、会員の交流や資質の向上にも努めました。地域イベントでは、SDGsの取り組み

として、ボランティア活動の発信や新たなチラシを作成し、地域に向けてシルバー事業への理解と関心を高めることができました。

会員懇談会については、新型コロナやインフルエンザなど上田圏域では医療警報や警戒レベルが上がるなどの状況でしたが、多くの会員の参加により 6 個所で開催することができました。

契約実績については、新型コロナという減少要因もありましたが、請負委任は前年度比で 97.9%、派遣事業は 95.6%となり、会員の皆さんのご努力により、大きな減少を回避できた実績となりました。

人手不足分野として期待される「介護予防・日常生活支援総合事業」は 6 年目を迎え、地域に定着した活動になっています。

ア 指定管理施設の運営

上田市から指定管理者として管理運営を受託している 2 つのマレットゴルフ場については、新型コロナの影響や 6 月に長雨、夏も猛暑などにより利用者の数は減少したものの、多くの愛好家にご利用いただきました。

また、塩田の郷マレットゴルフ場と天下山マレットゴルフ場は、上田市からの指定管理者の指定期間の最終年度となり、令和 6 年度に向けて指定を受け、新たに 5 年間の指定管理をすることになりました。

両施設とも会員はじめ、多くの皆さんのボランティア活動に支えていただく中で、美しい芝のコース整備と利用者の満足度の向上に努める施設運営にあたってきました。

イ 派遣会員の労働衛生への取組

労働安全衛生法に従い、衛生管理規程により衛生委員会の設置と産業医を選任して、毎月衛生委員会を開催し、会員の安全と健康確保対策に取り組みました。

派遣会員の健康管理に対しては、市町村が行っている特定健診への受診の呼びかけを行うとともに義務づけされているストレスチェックを実施しました。

(2) 就業促進委員会

令和 5 年度は、新型コロナの感染も落ち着き通常の社会生活が戻ることを想定し、令和元年度の活動に回復することを目標にして会員拡大を最優先重要課題、就業拡大を重要課題として取り組みました。地域の行政、企業等のイベントへの参加、行政の広報誌や新聞及び各種冊子への PR チラシの掲載、入会説明会の回数を増やすことや個別対応を行うなどの取り組みを実施するとともに就業促進委員による企業訪問や会員募集ポスターの掲示等を実施し、シルバーの活動や取り組みを発信し会員拡大、就業拡大に取り組みました。

ア 就業実績

令和 5 年度は、新型コロナ変異株の発生や天候不順、猛暑の影響を受けた大

変厳しい一年でした。請負事業と派遣事業を合わせた実績は受注件数 18,213 件、前年比 94.4%で1,073 件の減少、契約金額では1,065,267 千円で前年比 97.6%、25,832 千円の減少となり令和 4 年度の実績を超えることはできませんでした。

請負事業の令和 5 年度の実績金額は 942,152 千円となり前年比 97.9%で 20,205 千円の減少となりました。発注先別の実績金額は前年比では公共が 100.1%、民間企業が 97.5%、一般家庭が 96.0%でした。公共関係については、新型コロナのワクチン接種の駐車場整理が減少した分を施設の草刈り、剪定作業等の増加により前年度実績を上回ることができましたが、民間企業、一般家庭については、草刈り、草取り、剪定などの外仕事を行う会員の減少によって仕事の依頼はきても対応できないため謝絶する案件も発生し、前年度実績を下回る結果でした。

派遣事業についても新型コロナ変異株の発生やウクライナ侵攻等による部品の調達遅れ、物価高騰等などにより就業日数の減少や事業撤退による派遣の解消等があり、実績は 123,114 千円となり、前年比 95.6%で 5,626 千円の減少でした。

イ 会員拡大・就業拡大の取組

国の政策による 65 歳定年退職の定着化、また、事業主に対し 70 歳までの就業機会を確保する努力義務が設けられたことにより、新規会員の獲得は大変厳しい状況でした。各地区で開催されたイベントには積極的に参加し、会員募集・就業拡大のチラシ配布や相談会を開催しシルバーの活動を紹介しました。

また、行政窓口での情報の発信、行政の広報誌及び新聞や各種冊子への PR チラシの掲載を行うとともに、就業促進委員による会員募集ポスターの掲示活動を実施し、公共施設、商店、企業、街頭等に掲示いただき会員拡大の PR を行いました。就業拡大では、新規取引企業の開拓や取引先企業への深耕活動を実施しました。

入会説明会につきましては、感染防止対策を実施する中で開催し、説明会の回数を増やすことや個別対応を行うなどの取り組みを実施しました。

また、令和 2 年度より実施していますシルバーポイント制を活用し新規入会者数を増やす取り組みを実施しましたが、令和 5 年度の入会者数は 163 人で昨年度より 33 人の減少でした。また、会員の高齢化や病気、家族の介護等による退会者が増加し、全体の会員数は 1,831 人となり前年より 72 人減少しました。

《会員拡大、就業拡大の具体的取組》

【企業訪問・ポスター掲示】

| | |
|--------------|-------|
| カレンダー配布・企業訪問 | 230 社 |
| 会員募集ポスター掲示枚数 | 140 枚 |

【イベント活動チラシ配布部数】

| | | |
|------------------|----------|-------|
| いきいきフェスティバル 2023 | 丸子地区 | 300 枚 |
| 巨峰の王国まつり | 東御地区 | 300 枚 |
| うえだ環境フェア 2023 | 上田 1B～3B | 220 枚 |
| J A フェスティバル真田会場 | 真田地区 | 200 枚 |
| 上田地域産業展 2023 | 委員会全体 | 300 枚 |
| 青木村産業祭 2023 | 上田 4B・青木 | 200 枚 |
| サロン市（北御牧公民館） | 東御地区 | 100 枚 |

【相談会開催】

| | |
|-------------|----------|
| 青木村産業祭 2023 | 上田 4B・青木 |
|-------------|----------|

ウ シルバーポイント制の実施

就業促進委員会では、一人一会員拡大運動、一人一新規就業開拓の取り組みや総会・班会・講習会・ボランティア等のシルバー催事への参加意識の向上を図るべく、令和2年度よりポイント制を導入し取り組んできました。

令5年度の景品の交換数は、前年度の実績と比較して47件の減少となったため、令和6年度は積極的な取り組みをお願いします。

【ポイント付与催事等】

| | | | |
|-------------|--------|-------------|--------|
| 定時総会へ出席 | 1 ポイント | きずな総会出席 | 1 ポイント |
| 安全講習会へ出席 | 2 ポイント | 新規会員紹介（1人） | 5 ポイント |
| 懇談会へ出席 | 1 ポイント | 新規就業開拓（1ヶ所） | 3 ポイント |
| 班会へ出席 | 2 ポイント | 夫婦会員（毎年） | 2 ポイント |
| ボランティアへ出席 | 3 ポイント | 班長（毎年） | 2 ポイント |
| 各委員会 委員（毎年） | 2 ポイント | | |

【相談会開催】《地区別景品獲得数》

| 地 区 | 上田・青木 地区 | 丸子・武石 地区 | 東御地区 | 真田地区 | 長和地区 | 合計 |
|-------------|-------------|-------------|------|------|------|-----|
| 6ポイントで景品獲得 | 87 | 95 | 45 | 15 | 56 | 298 |
| 12ポイントで景品獲得 | 25 | 17 | 0 | 3 | 17 | 62 |
| 20ポイントで景品獲得 | 2 | 3 | 0 | 0 | 9 | 14 |
| 30ポイントで景品獲得 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 40ポイントで景品獲得 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 地区合計 | 114 | 115 | 45 | 18 | 84 | 376 |

エ 各種講習会の開催

会員等の技能や技術の習得を目的に、県連合会が実施している高齢者活躍人材確保育成事業や当センター独自の講習会を開催しました。

- ① 高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省から県連合会への委託事業：運営は上田地域シルバー人材センターもタイアップ）

地域における人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進するため、技能講習、就業体験、セミナーなどを通じてシルバー人材センターに対する理解を深めてもらう事業を実施しました。

【相談会開催】＜技能講習＞

| 講習名 | 講習期間 | 講習日数 | 受講者人数 |
|-----------|-----------|------|-------|
| 庭木・庭園管理講習 | 9月25日～29日 | 内4日 | 15人 |

【相談会開催】＜就業体験＞

| 体験就業名 | 開催日 | 参加者人数 |
|---------|------|-------|
| 花植え付け体験 | 6月7日 | 6人 |

【相談会開催】＜講座&講習会＞

| 講習名 | 講習期間 | 受講者人数 |
|----------------|--------|-------|
| シニア世代のライフプラン講座 | 11月17日 | 38人 |

- ② 独自技能講習・レベルアップ講習

剪定等の技能の習得に時間のかかるものや国補助事業の対象とならない技能講習のほか、事務処理のデジタル化を見据えた上田地域シルバー人材センターの独自講習を実施しました。

| 講習名 | 講習期間 | 講習日数 | 受講人数 |
|---------------|-------|------|------|
| 派遣教育訓練（調理補助） | 6月15日 | 午後 | 5人 |
| 高齢者運転講習 | 6月27日 | 午前 | 25人 |
| 派遣会員 運転者講習 | 7月1日 | 1日 | 8人 |
| スマホ相談会（長和） | 2月26日 | 午後 | 17人 |
| スマホ相談会（真田） | 3月11日 | 午後 | 7人 |
| スマホ相談会（丸子） | 3月12日 | 午前 | 8人 |
| 松剪定講習 | 3月13日 | 1日 | 19人 |
| スマホ相談会（東御） | 3月15日 | 午前 | 9人 |
| スマホ相談会（上田事務所） | 3月18日 | 午後 | 26人 |
| 9 講座合計 | | | 124人 |

オ 派遣事業

派遣では一部業種ではありますが、就業時間の緩和の許可が通っており、最長40時間(運用は30時間)までの就業が可能となっています。そのため、製造業などでの長時間就業にも対応できるようになり、企業の要望に応えることができるようになりましたが、新型コロナの変異株の発生、ウクライナ侵攻等による部品の調達遅れや物価高騰などにより就業日数の減少や事業撤退による派遣の解消等があり実績は減少し、令和6年3月末では65事業部所で133人の会員が就業しています。

令和5年度の実績は、就業延人員数は21,143人で昨年と比較し92.9%で1,597人の減少でした。派遣を依頼する企業が一定程度固定化される中で、減少した分の新たな派遣先を開拓していくことが必要となっています。

カ 介護予防・日常生活支援総合事業

平成28年度から委託事業として取り組んできた介護予防・日常生活支援総合事業については、29年4月に上田市から事業所指定を受け、東御支所でも平成28年11月から東御市地域包括介護支援センターからの委託事業として取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け減少となり、令和5年度の上田地域の実績は、訪問件数201件、受託件数は掃除洗濯、調理など延べ930件となっています。就業会員は7人、契約金額は1,545千円余となっています。

東御地域の実績は、訪問件数33件、就業会員は4人、受注額は239千円余となっています。

キ 観光ガイド事業

新型コロナの感染も落ち着き、春先から依頼が増えてきました。しかしながら、夏場の猛暑による観光客の減少で依頼が減少し心配しましたが、秋の紅葉シーズンではバスツアーや少人数の個人の受け入れを中心に活動し昨年を上回る実績をとっています。

ク 独自事業

会議やイベント会場での上田支部、丸子支部、東御支部の手芸、リフォーム製品販売、JAいずみの里などでの刃物研ぎなどに取り組みました。わら細工班による注連飾りは春から準備を進め、年末に向けて作製、販売をしました。

【令和5年度販売実績】

| | |
|-------------|---------|
| 上田支部リフォーム班 | 65千円 |
| 丸子支部手芸班 | 15千円 |
| 東御支部リフォーム班 | 36千円 |
| 刃物研ぎ(上田地区) | 273千円 |
| わら細工班(真田地区) | 5,805千円 |

ケ 令和5年度ボランティア活動実績

| 地区名 | 月 日 | 場 所 | 作業内容 | 参加人員 |
|----------------|--------|-----------------------------------|---------|------|
| 上田第1 | 12月7日 | 上田城跡公園 | 落葉とごみ清掃 | 25人 |
| 上田第2 | 12月7日 | 城跡公園櫓下駐車場 | 落葉とごみ清掃 | 13人 |
| 上田第3 | 10月20日 | 信濃国分寺公園 | 除草・草刈 | 32人 |
| 上田第4 青木地区 | 3月12日 | 塩田の郷マレットゴルフ場 | 落葉清掃 | 51人 |
| 丸子・武石 地区 | 11月9日 | ベルパーク | 除草・草刈 | 34人 |
| | 11月19日 | 武石ともしび博物館 | 除草・草刈 | 15人 |
| 東御地区 | 7月1日 | 東御市北御牧庁舎 | 除草・草刈 | 12人 |
| | 9月7日 | 総合福祉センター周辺 | 除草・草刈 | 24人 |
| 真田地区 | 9月12日 | 特養アザレアン真田 | 除草・草刈 | 12人 |
| 長和地区 | 6月19日 | 福井記念公園(長門) 和田宿ステーション付近 (和田) | 除草・草刈 | 25人 |
| きずな (上田・青木) | 6月28日 | 上田市指定文化財 倉沢家 | 除草・草刈 | 23人 |
| 観光ガイド班 | 4月～11月 | 上田城跡公園 | 観光案内 | 200人 |
| 合 計 | | | | 466人 |

(3) 安全適正就業委員会

令和5年度は、健康管理をテーマに講師を招き安全就業・交通安全講習会を開催したほか、安全パトロールの実施、石飛ばしにくい替刃の斡旋などを通じ、安全な就業や事故防止に注力しました。新入会員安全講習会の開催は見送りましたが、一部支所では、草刈り講習会を開いて技量の向上に努めました。

しかしながら、事故の発生を抑えることは難しく、賠償事故では注意不足が原因と思われる刈払機による飛石事故が多く発生し、防護ネットに代わる軽量の防護板の設置等の対策を行いました。また、多くはリスク管理の不十分さや安全意識の欠如によることから、事態をしっかりと認識し事故防止に向けての対策として「野外作業チェックシート」の見直しと提出の必須について周知し事故の防止に努めました。傷害事故では蜂刺されや転倒事故が多く発生しました。

会員の安全意識の向上、危険予知、ヒヤリハットなど、効果的な安全教育の実施を進め事故防止対策を進めていく必要があります。

ア 事故状況・事故防止について

事故の発生件数は、賠償事故15件と傷害事故13件で合計件数は28件でした。令和元年からの事故件数で一番多い結果となりました。うち飛び石による事故の件数は7件でしたが、ナイロンカッターの使用による事故も多く発生しまし

た。そして、すべての事故に防護ネットが使われていませんでした。

飛び石事故を防ぐために防護ネットを必ず使おうと強く呼びかけをしても防護ネットが使われていないということは、飛び石事故は他人事だと思っている結果の現れです。事故に歯止めがかからない場合、免責額や保険料が上がることになり、その結果、賠償保険の自己負担額も大幅に上げざるを得ないこととなります。飛び石事故を減らすことは発生数の減少に大きな対策となるため、作業前の現場確認（ぬかるみや滑りやすい場所、障害物の有無）、周囲の状況把握（車両や住宅との位置関係等）など、リスクを低減する努力を習慣化し、また、複数での作業においては、作業前ミーティングでのリスクの共有や作業時のそれぞれの配置などの確認を怠ることがないよう会員同士の目配り気配りを徹底することが大切です。

また、傷害事故では蜂刺されが多くあったほか、職場での事故で一番多く発生すると言われている転倒により骨折した事故が 5 件ありました。ケガについては治療に時間を要するため、就業への影響につながるため、自身での安全確認をしっかり行うことが大切です。

【賠償事故】

| No. | 就業内容 | 事故概要 | 損害状況 |
|-----|-------|--------------------------------------|----------|
| 1 | 草刈作業 | 通過した軽自動車に石が飛びリヤガラスを破損した | リヤガラス破損 |
| 2 | 草刈作業 | 車をバックした際に住宅の外壁に接触し穴を明けた | 外壁破損 |
| 3 | 草刈作業 | 石飛のため隣の敷地の車の後部窓ガラス等を傷つけた | 窓ガラス等破損 |
| 4 | 剪定作業 | 切った枝が隣のカーポートに落下し天井部を破損した | カーポート破損 |
| 5 | 草刈作業 | 通過した軽トラックに石が飛び助手席側窓ガラスを破損した | 窓ガラス破損 |
| 6 | 草刈作業 | 置いてあった高圧洗浄機のホースを切っしまい穴があいた | ホース破損 |
| 7 | 草刈作業 | 石飛のため隣の駐車場の車の助手席側窓ガラスを破損した | 窓ガラス破損 |
| 8 | 草刈作業 | 駐車場脇の除雪車に使う車の後部左のタイヤを切ってしまった | タイヤ破損 |
| 9 | 草刈作業 | 上田市霊園で草刈作業中にナイロンコードが墓石に当たり墓石が傷ついた | 墓石破損 |
| 10 | 草刈作業 | 石飛のため駐車してある従業員の車の助手席側窓ガラスを破損した | 窓ガラス破損 |
| 11 | 草刈作業 | 石飛のため駐車してある車のリヤガラスを破損した | リヤガラス破損 |
| 12 | 駐車場整理 | 違う駐車場へ移動してもらうため誘導したところ車を傷つけた | 左ドア横破損 |
| 13 | 草刈作業 | 隣接した畑の草刈作業で石が飛びサッシガラスを破損した | サッシガラス破損 |
| 14 | 草刈作業 | 壁際で草の大きな株に当たって跳ねたため、給湯器の配管の線を切ってしまった | 配管破損 |
| 15 | 伐採作業 | 枝を落とす際、隣のお宅のフェンスを傷つけてしまった | フェンス破損 |

【傷害事故】

| No. | 就業内容 | 事故概要 | 損害状況 |
|-----|---------|--------------------------------------------|----------|
| 1 | 軽作業 | 荷物を受け取ろうとして足がもつれ転倒し、ねん挫した | ねん挫 |
| 2 | 草刈作業 | 草の中にあつた針金が跳ねてフェイスガードの隙間より右顎唇横に刺さった | 裂傷 |
| 3 | 水道検針 | メーターを見ようとして背中2か所を蜂に刺された | 蜂刺され |
| 4 | 剪定作業 | 枝払い中、繋がれていた犬のロープの杭が抜けたため犬が突進してきて右足太ももを噛まれた | 犬に噛まれる |
| 5 | 管理業務 | ゴーカート場の入口看板を動かした際、右耳あたりを何か所か刺された | 蜂刺され |
| 6 | 草刈作業 | 草刈作業中、右手甲を蜂に刺された | 蜂刺され |
| 7 | 剪定作業 | 剪定作業中、右肩を刺された | 蜂刺され |
| 8 | 剪定作業 | 発注者宅の三脚を使用した際、三脚が開いて転落し、顔の頬骨を骨折した | 頬骨骨折 |
| 9 | ピッキング作業 | 倉庫内を伝票を見ながら歩行中、下にある荷物につまずいて転倒し右肩を骨折した | 右肩骨折 |
| 10 | 清掃作業 | 施設の雪かき作業中転倒し左手首を骨折した | 左手首骨折 |
| 11 | 筆耕作業 | 表彰状を納品する際、事務所前にて転倒し左前腕部を骨折した | 左前腕部骨折 |
| 12 | 受付業務 | 仕事に向かう途中で交差点で止まっていた所後ろから来た車に追突された | 打撲及びむち打ち |
| 13 | 水道検針 | 路面が凍っていたため足を滑らせ転倒し右手首を骨折した | 右手首骨折 |

イ 安全パトロールの実施

連合会の安全・適正就業対策推進委員による安全パトロールは8月に実施され、草刈機の使用現場でしたが、点検表のチェック結果は、○の達成率が100%でした。

更に、支所単位での安全パトロールは、7月から9月にかけて実施し、実際に草刈りなどの作業現場のほか、事故発生現場での検証を行いました。

令和5年度は点検の視点を変えてみることを目的として、地区間の連携による相互チェックを実施し、ヘルメット着用の徹底、作業間の距離などが指摘されました。

| 地 区 | 個 所 | 個所の内訳 |
|-------|------|---------------|
| 上田事務所 | 4 個所 | 草刈現場 1、事故検証 3 |
| 丸子支所 | 2 個所 | 草刈現場 2 |
| 東御支所 | 6 個所 | 草刈現場 4、事故検証 2 |
| 真田支所 | 3 個所 | 草刈現場 3 |
| 長和支所 | 1 個所 | 草刈現場 1 |

ウ 替刃「石飛番 (いしとぼん)」の斡旋

飛び石防止効果では一定の評価があり、切れ味や耐久性でも肯定的な意見が寄せられました。

これまでに紹介し利用いただいているものに加え、同替刃の利用を促していくとともに、より飛び石が発生しにくい替刃の調査を行っていきます。

【飛び石軽減刃の販売状況】

| 刈払機の刃（品名） | 枚数 |
|-----------|-------|
| 草刈王 | 1,116 |
| 隼 | 15 |
| 石飛番 | 166 |
| エコチップソー | 182 |

エ 安全標語の募集

「安全は 心のゆとりと 段取りで」

安全標語の募集には、38 作品の応募がありました。安全適正就業委員会での審査において、山浦千明さんの作品「安全は 心のゆとりと 段取りで」が最優秀賞に選ばれました。作品の全ては、長野県連合会の安全・適正就業標語に応募しました。

【令和5年度安全標語表彰作品】

(敬称略)

| 受賞 | 氏名 | 地区 | 作品 |
|------|-------|----|------------------------|
| 最優秀賞 | 山浦 千明 | 東御 | 安全は 心のゆとりと 段取りで |
| 優秀賞 | 寺西 英一 | 東御 | もう一度 点検確認 始業前 |
| 佳作 | 溝口 悦子 | 上田 | 経験と五感を使って安全就業 就業点検忘れずに |
| 佳作 | 林 哲夫 | 上田 | 作業前「みんなで点検・ミーティング」 |
| 佳作 | 窪田 利幸 | 上田 | 「気をつけて！」目配り 気配り 一声かけて |

(4) 広報委員会

会員への情報提供や会員同士の交流を目指して「上田地域シルバーだより」を年に5回、「お知らせ版」を毎月発行しました。新型コロナの影響による事業の減少等により広報の発行を5回に減らしたことは、情報の提供に支障をきたさないよう、お知らせ版を充実させることで対応しました。紙面の編集にあたっては、定時総会をはじめ、毎月のように各地で行われた行事やボランティア活動取材し掲載しました。昨年に引き続き、全面カラー化と大きな文字や写真、イラストを多用し、配置などを工夫して読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めました。

また、視察研修を実施し、原稿のデザイン処理や印刷される現場を視察したり、担当者からの説明を受けたりしながら見聞を広めるとともに、情報交換を行い次年度での改善点やこれからの活かし方などを話し合いました。

センターの事業内容や活動を中心としてホームページの内容は随時更新するとともに、SMS（ショートメールサービス）システムを使って緊急連絡など一斉配信しました。

(ホームページアクセス件数)

令和5年度実績 (3/8 現在)

| ホームページの項目 | 閲覧数 | 前年比% |
|---------------|--------|-------|
| トータルアクセス数 | 46,003 | 93.8 |
| トップページ | 9,349 | 105.3 |
| センターのご紹介 | 7,241 | 88.3 |
| お仕事をしたい方 | 13,549 | 193.4 |
| お仕事を頼みたい方 | 8,765 | 103.9 |
| 活動情報 | 6,475 | 88.0 |
| 観光ガイド | 5,464 | 92.3 |
| その他 (お知らせ一覧等) | 2,401 | 73.1 |

(携帯メールサービス登録会員数)

令和5年度実績 (3/8 現在)

| | |
|--------|-------|
| 就業案内登録 | 478 件 |
| 情報発信件数 | 87 件 |

(5) 女性班「きずな」

女性班の名称を「きずな」として12年目となりました。全体集会では、SBC ラジオ「つれづれ散歩道」へレギュラー出演されている田中真弓先生をお招きし、「心ときめく 好感度アップのおシャレ術」と題しご講演いただき好評でした。

また、令和5年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、重要文化財施設の草取りボランティア活動、フラワーアレンジメント講習会、寄せ植え講習会、おやきづくり講習会、わら細工のリース作り講習会、健康づくり講習会などを実施し、女性会員の横の繋がりを強化しました。

女性班として新年度の活動に繋げていくため会員拡大と就業開拓について検討しました。

(6) 氷見市シルバー人材センターとの交流

姉妹提携を締結している(公社)氷見市シルバー人材センターとは、会員互助会が主体となって、隔年交代で相互に訪問し、双方の事業内容等の研修を通して、交流を深めています。

新型コロナにより令和元年度以来、交流が途絶えていましたが、4年ぶりの交流をとり、氷見市に行って研修会と交流会を実施することができ、久々の再会により一層のきずなを深めることができました。